

～利根運河の自然をみんなで守るために～

外来植物アレチウリの 除去活動を実施しました



【月日】平成27年8月11日（火）
【場所】利根運河 河川敷 市立柏高校前（千葉県柏市）
【主催】利根運河協議会

利根川と江戸川を結ぶ利根運河は、明治時代に日本初の西洋式運河として建設された歴史的建造物（近代化産業遺産）であるとともに、都市部に残された希少な生物の生息・生育場です。

しかし近年、アレチウリ（特定外来生物※）などの外来植物が増えており、これらが蔓延すると、かけがえのない利根運河の生態系をおびやかす恐れがあります。そのため、利根運河協議会では、平成22年からアレチウリの除去活動を行っています。

利根運河のなかでも、柏市の市立柏高校前の河川敷ではアレチウリの繁茂が著しいことから、これまで地域のみなさんの参加のもと活動を行っており、今年も東京理科大学や市立柏高校のみなさんなど、100名ほどが集まり作業を行う予定でしたが、あいにくの雨のため、活動中止（7月16日）となりました。そこで、翌月8月11日に参加予定者のうち都合のあう有志が集まり、アレチウリを除去（抜き取り・刈り取り）しました。

※特定外来生物とは、生態系等に悪影響があるとして、法律（外来生物法）で飼育や栽培、運搬などが禁止されている外来種です。

【アレチウリ (*Sicyos angulatus*) / ウリ科 / 一年生草本】

■特ちょう■ アレチウリは、北アメリカ原産のウリ科の一年生草本です。茎はつる状で長く伸び、10mを超えることもあります。茎や葉には細かい毛のようなトゲがあり、果実にも特に鋭いトゲがあります。

■在来植物への影響■ つるを伸ばして他の植物を覆うように繁茂するため、他の植物に届く光を遮って成長を妨げるなど、在来植物に悪影響を及ぼすことがあります。

活動場所のアレチウリ



アレチウリの葉

アレチウリの茎

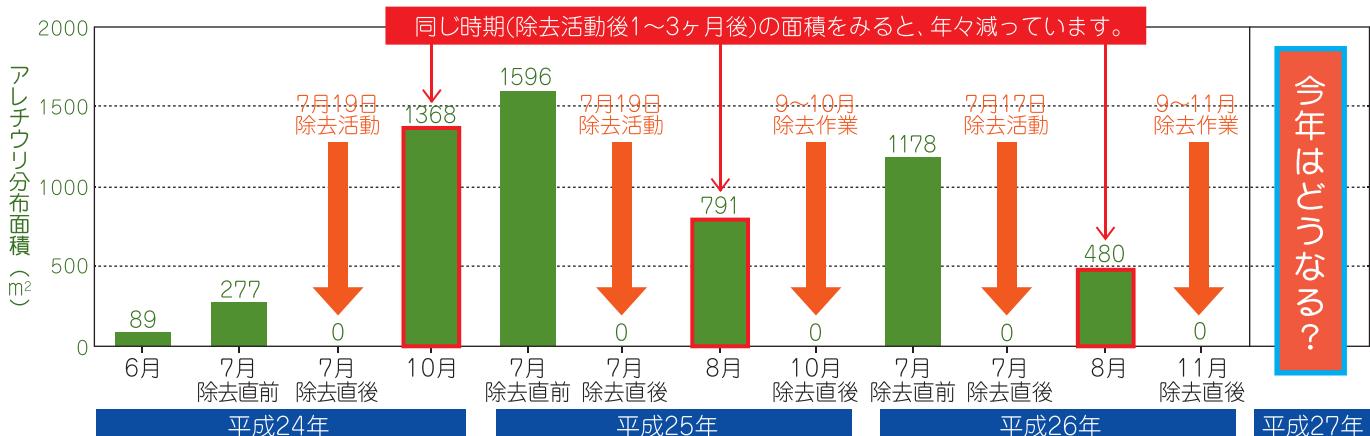


アレチウリの実



活動当日（8月11日）の天気は“くもり”と、除去作業を行うにはよい天気でしたが、真夏の暑さがきびしく、休憩を何度もとりながら、アレチウリを除去しました。アレチウリは広い範囲に広がっており、すべてを除去することはできませんでしたが、参加者のみなさんの努力により、およそ2時間かけて、写真のように多くのアレチウリが除去できました。なお、お集まりいただいたのは、一般公募で申し込みいただいた方、利根運河協議会関係者（市民団体代表メンバー、野田市、流山市、柏市、千葉県、江戸川河川事務所など）で計22名でした。

本年度は、同じ場所で、秋ごろにも国土交通省によるアレチウリ除去が予定されています。このような対策の継続により、利根運河の環境を、より自然豊かなものにしていくことを目指します。



【利根運河における除去活動】

利根運河協議会では、利根運河におけるアレチウリ対策に取り組んでおり、市立柏高校前では、平成22年から年1回、平成25年からは年2回の除去活動を継続して行っています(H23は中止)。この結果、アレチウリの分布面積は、減少傾向がみられています。年々、多くの方々にご協力いただけようになり、さらなる成果が期待されます。今後の活動のお知らせなど、利根運河エコパークのホームページ^{*1}に順次掲載していくので、ぜひご覧ください。

利根運河における貴重植物の保全活動

利根運河では、500種以上の植物が確認されており、そのうち約30種は環境省や千葉県のレッドリストに掲載される貴重な植物です^{*2}。利根運河協議会では、こうした貴重植物の保全活動(モニタリング調査など)を、市民・行政が協力しながら行っています。今回の、アレチウリ除去活動も、貴重な植物を守るための重要な取り組みのひとつです。



ノウルシ



レンリソウ



ヒメシオン

利根運河に生育している貴重植物の一例（地域のみんなで協力して保全活動を行っています）

*2 利根運河の生態系を守る会 (2006) 利根運河の花ごよみ より

利根運河協議会は、利根運河において、地域の人びとに親しまれ、周辺の自然環境や歴史文化と調和した、より美しい環境が形成されることを目指し、野田市・柏市・流山市・千葉県・国土交通省の行政関係者、有識者、民間団体の代表によって、平成19年(2007年)に設立されました。関係機関が連携・協力しながら、利根運河の生態系の保全や観光振興などに関する取り組みを進めています。

*1 利根運河エコパークホームページ <<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/edogawa00183.html>>

